



樹脂成形体の圧縮試験

広い温度範囲で、高荷重の圧縮試験が可能です。

当社評価技術の特徴

- 樹脂やCFRP等の複合材料を対象にした高荷重での試験が可能です。
- 低温～高温の所定の温度に試験体を保持しての試験を行います。

試験概要

- 試験温度範囲：-40～+250℃
- 試験荷重範囲：～2000kN
- 試験可能サイズ：断面 約300mm□以下
- 例えば試験体にひずみゲージを装着することで、局所的な変形挙動の観察も可能になります。

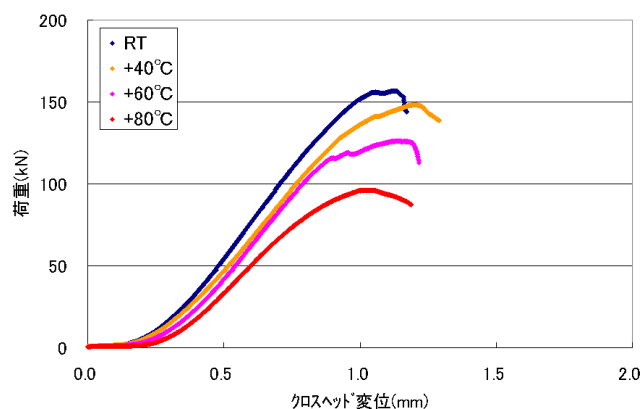


図1 荷重-クロスヘッド変位(圧縮量)図
(ポリエステル-ガラス繊維成型体)

試験機



図2 AG100kNX
100kNまで
-40～+250℃(湿度管理も可)



図3 500kN万能試験機
500kNまで
RT～+100℃



図4 2000kN万能試験機
2000kNまで
RT～+100℃



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。